

氏名(本籍)	Le Thi Huyen (ベトナム社会主義共和国)		
学位の種類	博士(学術)		
学位記番号	甲第379号		
学位授与年月日	令和3年9月22日		
学位授与の要件	学位規則第4条第1項		
研究科・専攻名	工学研究科・基盤工学専攻		
学位論文題目	Return migrants' prosocial behaviors in rural areas - Case study in Vietnam (田舎から都市への移住者の地元への向社会的行動—ベトナムにおける事例研究)		
論文審査	(主査) 高知工科大学	教授	中川 善典
	高知工科大学	教授	小谷 浩示
	高知工科大学	教授	小林 豊
	高知工科大学	准教授	矢内 勇生
	広島大学	教授	柿中 真

審査結果の要旨

1.論文の評価

本学位論文は、ベトナムにおける農村部から都市部への移住者が、地元への帰還後に、地域の持続可能性に対してどのような貢献をしているのかを、明らかにした。既往研究においては、都市部への移住者が地元へ仕送りを通じた経済的な便益をもたらすことや、帰還者が起業家精神などさまざまな「新しい血」を地元へ持ち帰るなどの効果は広く研究されてきた。これに対して本研究は、こうした帰還者がいわゆる社会関係資本(人々が持つ信頼関係や社会的ネットワーク)の強化に貢献し、地域の持続可能性を高めるという新たな効果を持つことを実証的に明らかにした。

農村部においてアンケート調査を実施し、帰還者と移住未経験者における向社会性の差異を統計的に特定するのみならず、都市部において、農村部からの移住者が地元への貢献に対するモチベーションを獲得するプロセスについても明らかにしたことで、本論文の蓋然性を一層高めたことは、評価できる。

ただし、今後の課題も存在する。第一に、クロスセクショナルなデータ収集に依存しているため、また都市部から農村部に移住し帰還していない人たちを研究対象としていないため、本論文が主張する因果関係の方向性がどこまで正しいのかについて、一層の検証が求められる。第二に、農村部から都市部への移住は、農村部に様々な負の影響を与えることが、既往研究において指摘されている。そのような中で、移住の正の側面のみに着目した本論文は、この移住に対してどのような評価を与えるのか、明言していない。農村部にとって、都市部への移住を経験する人材と、農村部にとどまってその地域の発展に貢献する人材とのベストミックスのあり方を探求する等のことが、今後の残された課題となる。第三に、本研究はベトナム国内における移住を主な対象とした一方で、ベトナム人が海外に出稼ぎに出ることも多い。マクロ経済学的、あるいはその他の視点から、発展途上国における農村部からどのような都市部へ移住することが好ましいのかについて、論ずることも重要な今後の課題である。

2.審査の経過と結果

- (1) 令和3年6月30日 5名の審査委員のもと協議され、博士後期課程委員会で学位論文の受理を決定した。
- (2) 令和3年8月19日 公開論文審査発表会及び最終試験を実施した。
- (3) 令和3年9月3日 博士後期課程委員会で学位授与を可とし、教育研究審議会で承認された。